



人類に
奉仕する
ロータリー

創立昭和28年1月8日

TANABE ROTARY



District 2640 田辺ロータリークラブ Club Weekly Bulletin

2016-17年度
国際ロータリーテーマ
「人類に奉仕するロータリー」
-ROTAR SERVING HUMANITY-
ジョン F. ジャーム R I 会長
国際ロータリー第2640地区
福井隆一郎 ガバナー

4つのテスト (FOUR WAY TEST)

- 言行はこれに照らしてから
- (1) 真実かどうか
 - (2) みんなに公平か
 - (3) 好意と友情を深めるか
 - (4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30
例会場 紀伊田辺シティプラザホテル
会長 植田 英明
幹事 柏木 壽夫
会報委員長 松本 哲
<http://tanabe-rc.com/>

承認 昭和28年3月2日
事務所 〒646-0031
田辺市湊23-6
TEL 0739-24-2002
FAX 0739-26-0264
mail tanabe-rc@helen.ocn.ne.jp



「滝尻王子(滝尻王子宮十郷神社)」

●司会者
植田英明会長

●ソング
さくらさくら

●ゲスト
保田 博子 様

●ビジター

4月6日のプログラム

田辺税務署長
中川 信男 様

4月13日のプログラム

新会員卓話
中田 隆晶 会員

出席報告

	第3144回	第3145回	第3146回
会員数	86名	86名	86名
出席規定免除会員数	8名	8名	8名
出席計算会員数	82名	83名	82名
出席者	63名	56名	61名
出席率	76.83%	67.47%	74.39%
メイクアップ	6名	10名	
修正出席率	84.15%	79.52%	

メイクアップ

3月25日 新藤(地区ロータリー財団補助金セミナー)
3月27・28日 村上(会員基盤向上セミナー)

お祝い

会員誕生日 濱口、三前洋、稲田静、竹内
結婚記念日 三前洋、大川、竹本、竹内

ニコニコ箱

☆保田博子さん、田辺ロータリークラブにようこそ。本日は卓話を宜しくお願ひ致します。・・・植田英、柏木
☆保田博子さん、ようこそおいで頂きました。本日の卓話よろしくお願ひします。(プログラム委員会).....中松、稲田静
☆保田博子様、ようこそ！本日の卓話楽しみにしています。.....畑地、辻、野村、玉置、長井、伊賀、松本、橘、脇村富、都志見
☆保田博子様、ようこそいらっしやいました。いつもお世話になります。また、植樹の際にも大変お世話になりました。.....大木、白井

☆保田さま、卓話よろしくお願ひ致します。公民館でお世話になっています。.....新藤
☆保田博子さま、ようこそいらっしやいました。東京の南紀田辺会へCDを送らせていただきます。ご了承下さい。.....横田
☆今日3月30日の会報の表に写真が採用されています。.....渡部
☆遅くなりましたが、歓迎会ありがとうございました。.....山本浩
☆本日ニコニコ箱の発表は、ピンチヒッター新井です。.....新井
☆娘が慶応義塾の薬学部を卒業、国家試験に合格し、4月から社会人です。やれやれです。.....横田

お知らせ

会長報告

- ・3月25日、地区ロータリー財団補助金セミナーへ、新藤整市副会長が出席されました。
- ・3月27日28日、会員基盤向上セミナーへ村上有利RRFC・PGが出席されました。

幹事報告

- ・4月のロータリーレートは、3月に引き続き116円です
- ・米山梅吉記念館より館報と春季例祭の案内が届いていますので回覧します。
- ・ロータリー囲碁同好会より台湾での「第18回ロータリー国際囲碁大会」のご案内が届いていますので回覧します。



『熊野古道を歩く会の歌』

保田 博子 様

此の度は畑地 浩様の御紹介で中松村夫様のお力添えにより『熊野古道を歩く会の歌』について卓話させて頂き有難うございました。

一昨年十二月の初めに引き出しから十七年間眠ったままの切り抜きが見つかり、何かと見ましたら野口先生の歌詞でした。野口先生は第一小の校歌の作詞者であり『熊野九十九王子絵巻』の作文をされたり、随筆誌「土」の創刊者であり、私が田高三年の時の漢文の先生です。漢文の授業中に余談でよく小川の話がされました。現在の白浜町小川で日置川の支流の城川を四キロ位上がった所です。

小川は母の故郷で父は軍人でしかも外地勤務が多く、私が生まれて百五十日目以外地に行った為に母は小川に帰り昭和幼稚園に入園するまでの五年間私は小川で育ちました。

時は違えますが野口先生のお父さんは小川小学校の校長先生をされていて先生は十歳まで小川で育ったそうです。往時小川から田辺までは一日ががりの行程で朝早く起き宇津木坂を越え生馬溪を歩きます。「生馬溪くりゃ疝気(せんき)が起る、保呂の土手見りゃ気が晴れる」と言ったとか又礪坂までようやく来た父子が頂上に立って田辺を見下ろし「お父(と)やん日本が見えた、日本てなんて広いんなあ」「阿保!日本はこれの三倍あるんや」と言ったとか「井の中の蛙大海を知らずや」面白そうに話されていました。(当時の礪坂はシティプラザの高さまでありました)そんな思い出もあって切り抜いたのかと再読して感動しました。古道が世界遺産になるのを想定したかの様な詞だからです。これに然る可き曲をつけて口熊野の田辺から発信し古道にはこんな歌がある事を広く親しんで貰いたいと思い市にお願いしましたが、取り上げて頂けませんでした。三日間寝れない夜を過ごしCDを出す

計画を実行しました。

この歌ができた経緯は昭和四十四年に「古道を歩く会」が結成され、第一回は大雲取り越えとなり会長は那智大社の宮司篠原四郎氏で二百三十人が参加されましたが、今の様に整備された古道ではなく難行を極め半数がリタイアしたそうです。この時七十三歳であった野口先生も参加されてこの詞を作られ「茶摘みの唄」に合わせて歌えば良いと言われたそうですが、古道が世界遺産になった今ふさわしい曲と思ったのです。先生は第五回市の文化賞を受賞されておられそれも地方文化での受賞なので先生達が古道の先駆けであられたと思いました。CDは蟻通神社で祈祷をして頂き市長にも送りましたら一ヶ月程して電話をくれました。

「非常にきれいなメロディで市はここまで出来ませんでしたが何かあったら言って下さい」と言われましたので観光センターで流してほしい旨お願いし、十時過ぎから半時間流してくれています。速玉、那智からは宮司さんから礼状がきましたし、本宮大社からは九鬼宮司さんからは電話くれました。「こんな詞が半世紀も前に作られていたて知りませんでした。メロディも覚えやすく綺麗なので普及に協力する」と言って下さり本家本元からなので、一番うれしくCD出して良かったと心底思いました。

去る一月十七日文館で小、中学校の「語り部」を聴きに行き、ハッと思いつき慌ててCDを取りに帰り文館に戻って先生らしき方に活動の話をし、次世代を継ぐのは子供達であり私は行く先はるかに短いので受け続けてほしい話をすると賛同して下さい各小学校に送ってくれました。学校教育課の課長だった事も幸いでした。古道の内容は難しくても子供達は身体でリズムをすぐに覚えます「君が代」然りです。二月十二日の伏菟野の植樹祭で早速お礼を言われました。娘と同じ学校に勤めていたと言う小学校の先生でした。

この三月二十三日市長から話をしたいからと連絡が入り市長室での話の中でCDを渡すと然るべき所に届けると約束して下さい転ばないようにと注意して下さい。又「語り部」の方からは詞の書を頼まれて二ヶ所に掛けて下さる事になりました。霧の里と古道資料館だそうです。その下に英訳を貼るとか世界に広がる喜んでくれています。今この様な広がり方をしておりますので今後とも宜しくお願い致します。

「熊野古道を歩く会の歌」
野口民雄作詞
谷本智子作曲

一 熊野古道は希望の道よ
三 所権現靈験あらた
難行苦行も補陀落浄土
願う心に胸おどる

二 熊野古道は歴史の道よ
女院上皇公家武士庶民
あとへあとへと続いた山路
昔忍べば軽い足

三 熊野古道は神秘の道よ
山は千年緑をたたえ
金の鳶やら八咫鳥やら
招くしるべに気も弾む

四 熊野古道は懐古の道よ
九十九王子 山川草木
栄枯盛衰流転の夢を
たどりながらに語る旅

五 熊野古道は修行の道よ
ひびく木魂は六根清浄
森に林に峠に坂に
身も心もきたえ練る
(歩け 歩けよ
つれもて 行こよ)